

復活節第六主日（ヨハネ15:9-17）

キリストの愛は恐ろしいものです。すべてを要求し、すべてを犠牲にしなければなりません。時々、人々はこの愛に喜び、それを受け入れますが、いつの間にかそれを見失い、それ以上進むことを拒否します。多くを与えた後、それ以上は与えないのです。私たちの愛が求められ、行使され、引き伸ばされるにつれて、愛は浄化され、深められ、広げられ、強化され、ついには聖霊のあらゆる喜びをもって、容易に、自然に、自然に流れるようになるからです。このような状態になることは、私たちにとって考え得る最高の善です。人間の願望はこれを超えることはできません。この状態に沿って生きることは、完全に幸せなことです。それができないと、私たちが作られた目的である "幸福" を得ることができません。

最後の晩餐で、イエスは新しい愛の戒めとともに、私たちに愛の秘跡を与えてくださいました。ここで、私たちは、いつでも、新たに、イエスの犠牲の死に直接触れることができます。それは、イエスの愛の完全な表現であり、その愛が私たちの上に流れ出る源なのです。ここでは、祭壇の最も聖なる秘跡において、私たちはイエスが私たちのために持っている愛と、それを互いに伝え合うことができるようにするために必要な恵みを、いつまでも新たに直接受け取ることができます。ここで、聖霊の力によって、私たちはイエスと互いに一つの体で結ばれます。それは、私たち自身の無限の善のためであり、神の永遠の栄光のためです。

ウィル神父